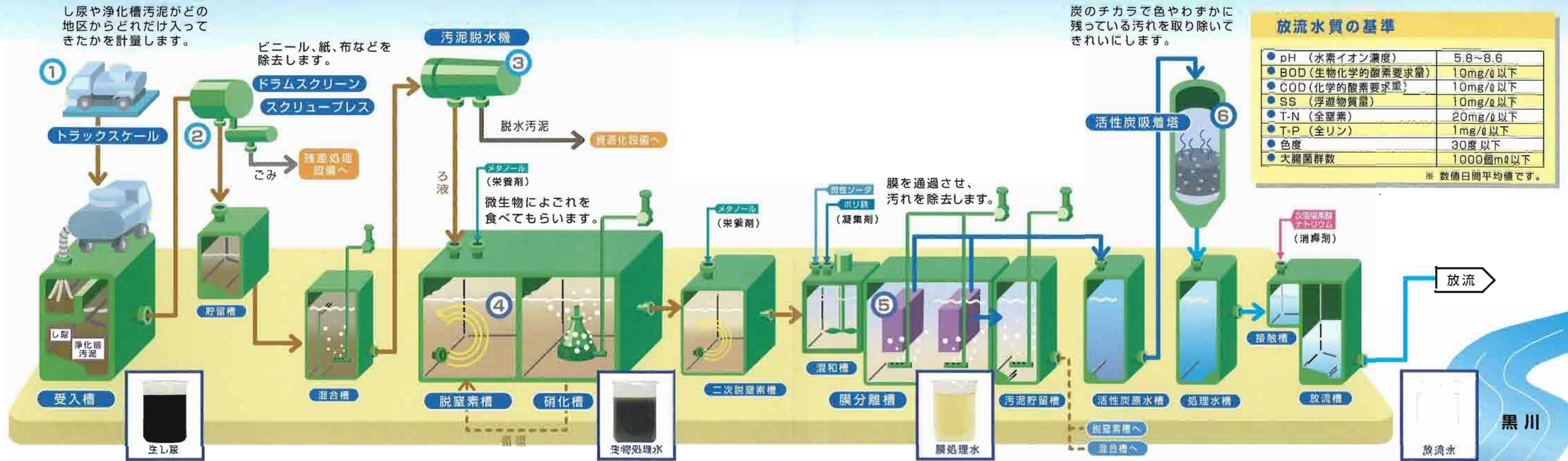


水処理設備

1日に91kℓのし尿と浄化槽汚泥を処理し、厳しい水質基準を設け自然環境を守ります。



放流水質の基準

● pH (水素イオン濃度)	5.8~8.6
● BOD (生物化学的酸素要求量)	10mg/ℓ以下
● COD (化学的酸素要求量)	10mg/ℓ以下
● SS (浮遊物質)	10mg/ℓ以下
● T-N (全窒素)	20mg/ℓ以下
● T-P (全リン)	1mg/ℓ以下
● 色度	30度以下
● 大腸菌群数	1000個/mℓ以下

※ 数値日間平均値です。

前処理設備

主処理設備

高度処理設備

放流設備



1 ↑トラックスケール



2 ↑ドラムスクリーンスクリュープレス



3 ↑汚泥脱水機



4 ↑硝化槽



5 ↑膜分離装置



6 ↑活性炭吸着塔



7 ↑監視水槽

脱窒素槽・硝化槽のしくみ

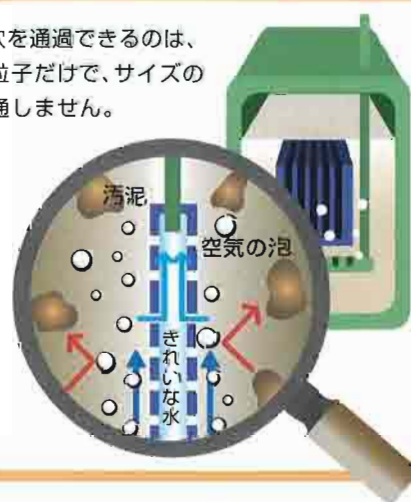
生物処理槽では2種類の微生物が活躍します。まず、硝化菌が酸素とアンモニアを食べ、硝酸に変えます。次に脱窒素菌が硝酸と汚れの元を食べ、無害な窒素ガスとなり、これを繰り返すことにより汚れが無くなっていきます。



膜分離装置のしくみ

膜表面の小さな穴を通過できるのは、水などの小さな粒子だけで、サイズの大きいよごれは通しません。

下から空気を絶えず送りこみ、膜の表面に汚泥が付くのを防いでいます。



安全管理と処理水の監視

施設の機器は、すべて中央監視室で集中管理しているため、安全で管理の容易な設備となっています。また、水質試験室を設け、放流水の水質などをチェックして、安定した処理を維持しています。



↑中央監視室



↑水質試験室